

豚人工授精技術研修会実施要領

平成 8 年 4 月 25 日 制定

平成 12 年 6 月 15 日 改正

平成 18 年 5 月 16 日 改正

平成 23 年 10 月 18 日 改正

平成 29 年 9 月 4 日 改正

令和 5 年 9 月 13 日 改正

(目的)

第 1 この豚人工授精技術研修会（以下「研修会」という。）は、養豚経営における繁殖管理の経費と労力を節減し、優良雄豚の効率的利用と斉一性の高い豚肉生産を可能にする人工授精技術の普及定着を進め、本県の養豚経営の安定的発展に資することを目的に実施する。

(実施機関)

第 2 栃木県畜産酪農研究センターにおいて行う。

(実施時期)

第 3 原則として年 1 回実施する。開催期日は別に畜産酪農研究センター所長（以下「所長」という。）が定める。

(受講料)

第 4 無料とする。

(受講対象者)

第 5 栃木県内で養豚経営を営む者及びこれに準じる者、その他所長が認める者とする。
2 対象者は 1 回につき 10 名以下とする。（受講希望者が 2 名以下の場合は中止とする。）

(受講の手続)

第 6 研修会を受講しようとする者は、研修会実施日 10 日前迄に別記様式 1 の研修受講申込書を畜産酪農研究センターに提出するものとする。
2 所長は受講者を決定し、別記様式 2 により受講者へ通知するとともに、関係機関及び畜産振興課に通知するものとする。

(研修の内容等)

第7 講義及び実習とする。

研修内容	講義	実習
1 受講者数	3～10名	3～10名
2 研修期間	3日間	
3 研修時間	2時間	8時間
4 研修項目	(1) 豚繁殖生理 (2) 人工授精 ア 精液採取 イ 精液検査 ウ 希釈・保存 エ 精液の注入 (3) 器具の取扱い	(1) 精液採取 (2) 精液検査 (3) 精液の希釈・保存 (4) 精液の注入

(その他)

第8 この要領に定めるものの他、研修会に関し必要な事項は所長が別に定める。

附 則

この要領は令和5年9月13日から適用する。

(別記様式1)

研修受講申込書

令和 年 月 日

栃木県畜産酪農研究センター所長 様

住 所

ふりがな
氏 名 印

生年月日

TEL (連絡先)

私は、このたび栃木県畜産酪農研究センターにおいて行われる豚人工授精技術研修会を受講したいので申し込みます。

養豚経営の概要	種雄豚 頭 繁殖用雌豚 頭 飼養頭数計 頭
人工授精経験歴	有 ・ 無 (有の場合は経験年数 年)
家畜人工授精師免許	有 ・ 無
防護服・長靴のサイズ	防護服 M ・ L ・ 2L ・ 3L 長靴 cm

(別記様式2)

受講決定通知書

令和 年 月 日
番 号

様

栃木県畜産酪農研究センター所長名

令和 年 月 日付けで申し込みのあった、栃木県畜産酪農研究センターにおいて行われる令和 年度豚人工授精技術研修会について、受講を下記のとおり決定しましたので通知します。

記

1 講義日時

2 実習日時